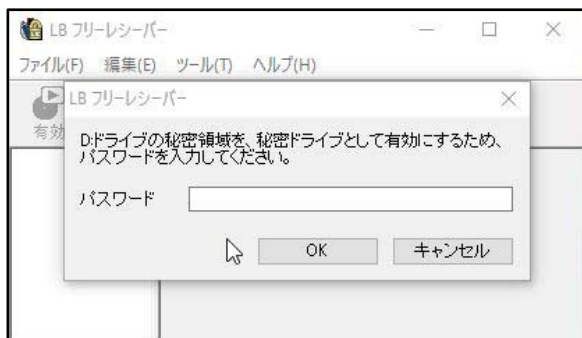


「EA 気象データ/EPW フォーマット」 操作マニュアル

「EA 気象データ/EPW フォーマット」は、暗号化された状態で光学ディスクに収録されています。本マニュアルで示す手順にて読み込んでください。

(1) ディスクを光学ディスクドライブに挿入し、パスワードを入力する



ディスクを挿入すると、左図のように、パスワードを要求するウィンドウが表示されます。もし、このウィンドウが自動表示されないなら、ディスクのルートにある「LBFR.exe」を実行してください。

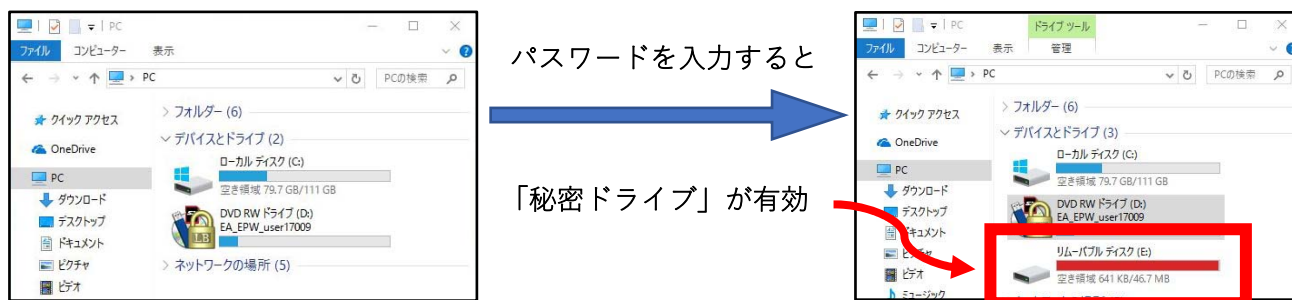
MetDS から提供された正しいパスワードを入力し OK ボタンを押すと、「秘密ドライブ」が有効になります。

※「秘密ドライブ」とは、暗号化ソフトにより自動生成される仮想のドライブです。

※「LBFR.exe」は Windows の「管理者権限」で実行する必要があります。「一般権限」のユーザーは一時的に「管理者権限」に昇格してください。

(2) 「秘密ドライブ」にアクセスする

「EA 気象データ/EPW フォーマット」データは、「秘密ドライブ」の中に生成されます。エクスプローラー等で「秘密ドライブ」にアクセスしてください。下図の例で「秘密ドライブ」は E ドライブです。



エクスプローラー等で「秘密ドライブ」にアクセスすると、「EA 気象データ/EPW フォーマット」データを確認できます。「秘密ドライブ」に存在している、拡張子「.epw」の「EA 気象データ/EPW フォーマット」のファイルをコピーし、任意の場所に保存してご利用ください。

「EA 気象データ/EPW フォーマット」のファイル名に含まれる 8 桁の数字のうち、最初の 4 桁は EA 地点番号、残りの 4 桁は標準年の種類を示します。「1111」は 1995 年版、「2222」は 2000 年版、「3333」は 2010 年版です。また、末尾の数字は、どの高さで風速の高度補正をしているか (0.1m 単位) を示します。例えば、「JPN_80603333_KAGOSHIMA_EA_W0065.epw」は、地点番号 8060、標準年 EA 気象データ 2010 年版、風速の高度補正は 6.5m のデータであることを示します。